

# 仮想空間におけるデータとモデルの表現と操作

成蹊大学 経済学部 田中研太郎

## 1 はじめに

仮想空間においてデータとモデルを表現したり操作したりする方法などについて、発表を行います。また、おそらく、実機を用いたデモンストレーションも行います。

## 2 発表内容の紹介

昨年あたりから、テレビゲームを含むエンターテインメント業界を中心に、仮想現実や拡張現実の利用が盛り上がりを見せはじめています。そして、近い将来、エンターテインメント業界だけではなく、医療やセキュリティ、そして教育などの分野においても、これらの技術が当たり前のように利用されるようになると予想されます。

また、データ分析が求められる機会もますます増加していますが、仮想現実の技術を用いることで、データをよりダイナミックに表現することが可能になります。多くの人が、楽しみながらデータを操作して分析ができるようになるかもしれません。

本発表では、仮想空間におけるいくつかのデータの表現や操作手法などについて紹介し、その可能性や問題点について述べていきます。当日の発表においては、実機を持ち込んだデモンストレーションを行うことを予定しています。ただし、現在は、システムを安価に実現することに重点を置いており、また、技術的に新しいことをするわけではありません。